

報道関係者 各位

令和3年11月30日

【照会先】

秋田労働局労働基準部 健康安全課
課長 佐藤 存
産業安全専門官 田川 健志
(電話)018-862-6683

転倒災害防止キャンペーン「転倒災害防止大作戦」の実施について

秋田労働局（局長 川口秀人）は、職場における転倒災害を減少させるため、下記により転倒災害防止キャンペーンを実施します。

秋田労働局では、従来から職場における転倒災害防止対策について、毎年重点事項を示してその予防対策に取り組んできたところです。さらに、平成24年からは「転倒災害防止プロジェクトチーム」を設置し、各労働災害防止団体と連携して転倒災害防止対策を推進してきました。

しかし、秋田県内における令和2年の職場における転倒災害による休業4日以上を負傷者数は281人となっており、過去の推移をみても増減を繰り返しながらも増加傾向にあります。

全産業の労働災害のうち、転倒災害に占める割合は25.9%と、4人に1人が職場において転倒により負傷している状況にあります（別添、資料1）。

その発生状況を見ると、毎年12月から翌2月の冬季間に転倒災害が多発しており、特に屋外の積雪や凍結箇所が多く発生しております。

各労働基準監督署に報告された労働者死傷病報告によると、冬季間における季節的な要因はあるものの、事業場での転倒災害防止に関する管理方法と、労働者による不安全行動を抑えることにより、転倒による労働災害を防げる負傷であることも確認されております。

このようなことから、秋田労働局（局長、川口秀人）では、冬季間における転倒災害防止対策を推進するため、資料2による「転倒災害防止大作戦～冬季間は『見える化』実施で転ばない職場の実現を～」と題したキャンペーンを展開し、関係団体への要請や、各労働基準監督署において実施する講習会や各種指導を行う機会に、事業者に対して転倒災害防止対策実施に向けた指導及び周知を行うこととしています。

報道機関の皆様には、転倒災害防止に向けた取り組みについて、関係者をはじめ県民に広く浸透するよう、取材・報道をお願いします。

I 関係団体に対して行う要請の概要

〈別添、要請概要のとおり〉

II キャンペーン期間と期間中に実施すべき事項

1. 期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日
2. 実施すべき事項

① 事業場出入口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止！

- ② 転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示！
- ③ 駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止！
- ④ 冬季間は早く暗くなるため、センサーライトの設置で明るさ確保！
- ⑤ 作業場所に適した注意表示の設置を行いましょ
- ⑥ 転倒事故事例から見た6つの危険ポイントを確認しましょ

Ⅲ その他の実施事項

1. 秋田労働局作成による転倒災害防止ポスター（資料3）及び転倒災害防止壁新聞（資料4）を県内の商工会・商工会議所、食品スーパー・ホームセンター及び家電量販店等の多店舗展開企業、飲食店、ホテル旅館、社会福祉施設、社会福祉協議会、靴販売店に対して掲示依頼（1,609箇所）
2. 県内各市町村作成の広報誌への「転倒災害防止」に関する記事の掲載依頼（県内全市町村）
3. 秋田労働局ホームページに上記取り組みの掲載
4. 令和3年12月から令和4年2月までに、各労働基準監督署で実施する講習会、各種指導時にキャンペーン資料により転倒災害防止対策に対する指導

Ⅳ 要請先関係団体

1. 一般社団法人秋田県労働基準協会
 2. 建設業労働災害防止協会秋田県支部
 3. 林業・木材製造業労働災害防止協会秋田県支部
 4. 陸上貨物運送事業労働災害防止協会秋田県支部
 5. 港湾貨物運送事業労働災害防止協会秋田県支部
- ほか県内関係団体 68 団体

◎関係資料

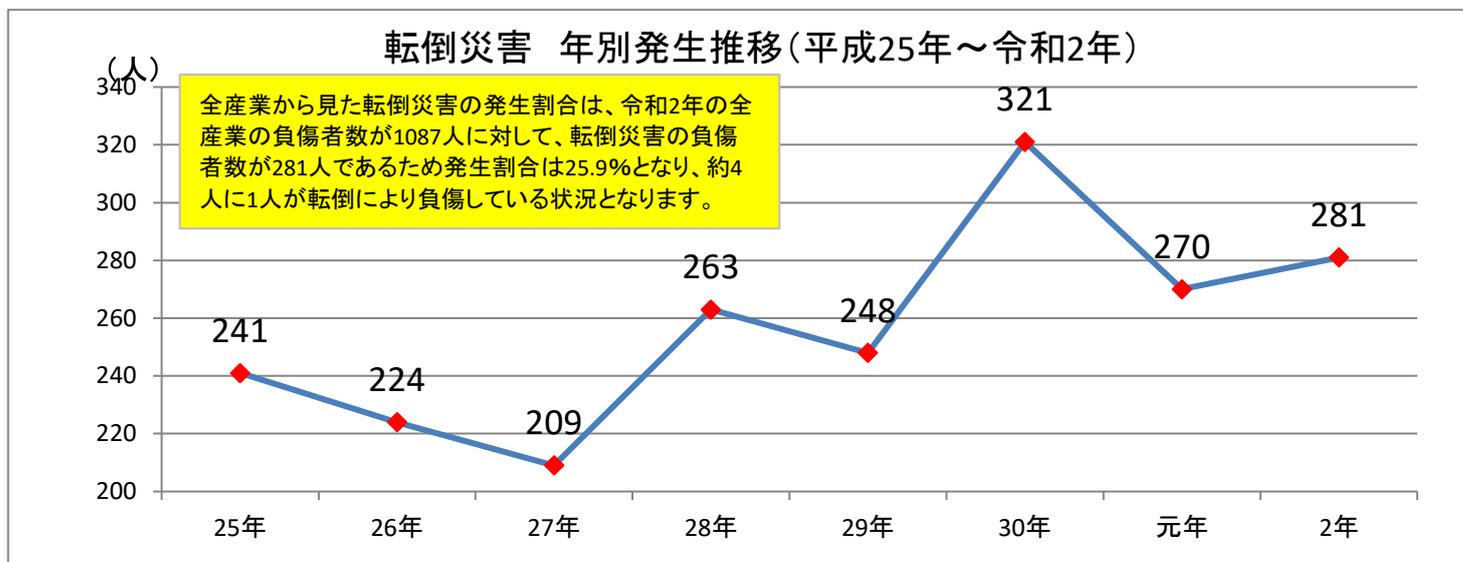
- 資料1 転倒災害発生状況
- 資料2 キャンペーンリーフレット『転倒災害防止大作戦～冬季間は「見える化」実施で転ばない職場の実現を～』
- 資料3 転倒災害防止ポスター（通年使用資料、令和3年度版）
- 資料4 転倒災害防止壁新聞（通年使用資料、令和3年度版）

転倒災害防止キャンペーン要請概要

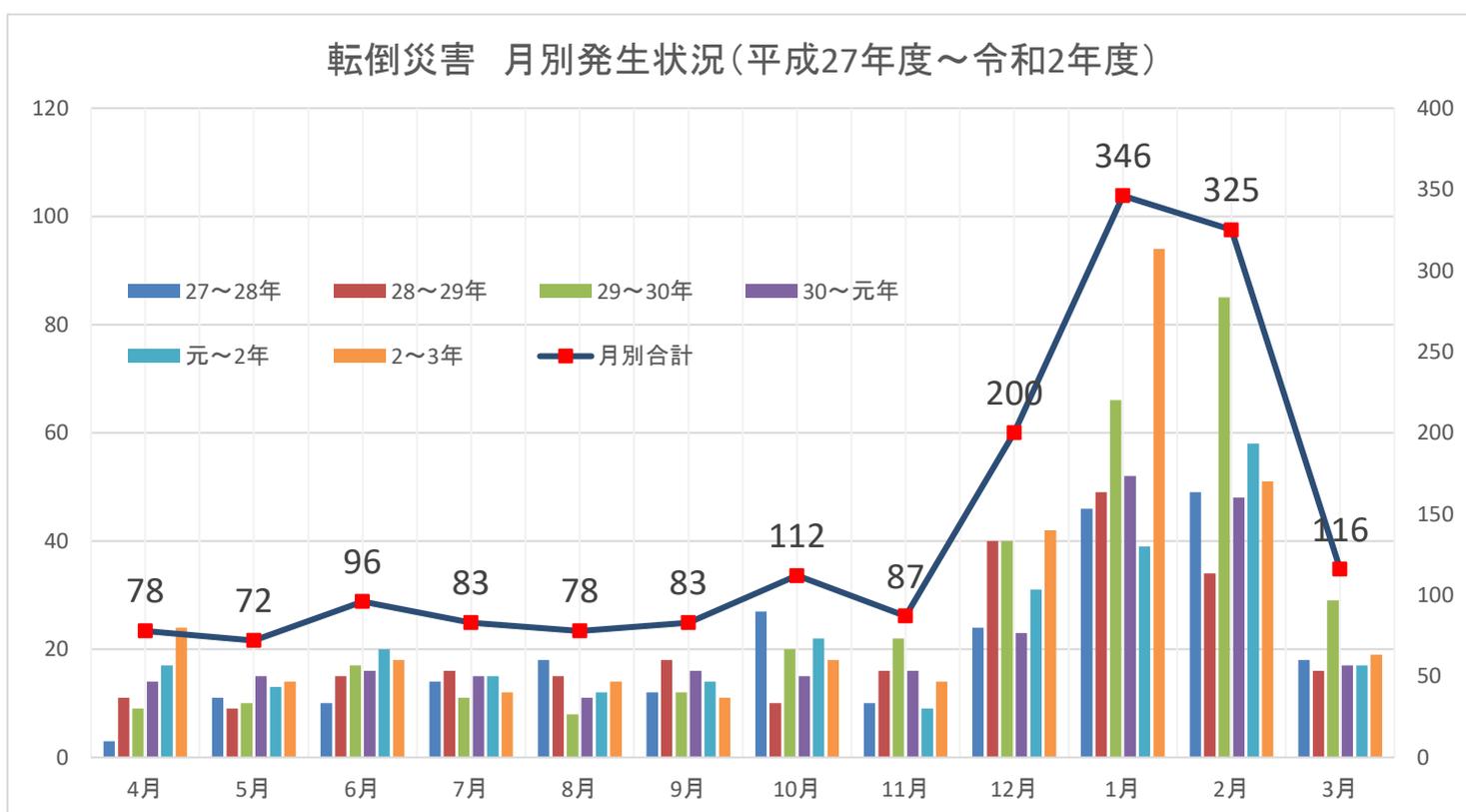
1. キャンペーン実施期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日
2. キャンペーン実施期間中の実施事項
 - ① 事業場出入口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止！
 - ② 転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示！
 - ③ 駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止！
 - ④ 冬季間は早く暗くなるため、センサーライトの設置で明るさ確保！
 - ⑤ 作業場所に適した注意表示の設置を行いましょう
 - ⑥ 転倒事故事例から見た6つの危険ポイントを確認しましょう
3. 具体的取組事項
キャンペーンリーフレット『転倒災害防止大作戦～冬季間は「見える化」実施で転ばない職場の実現を～』を使用した、関係事業場への周知をお願いします。

秋田県内における転倒災害発生状況

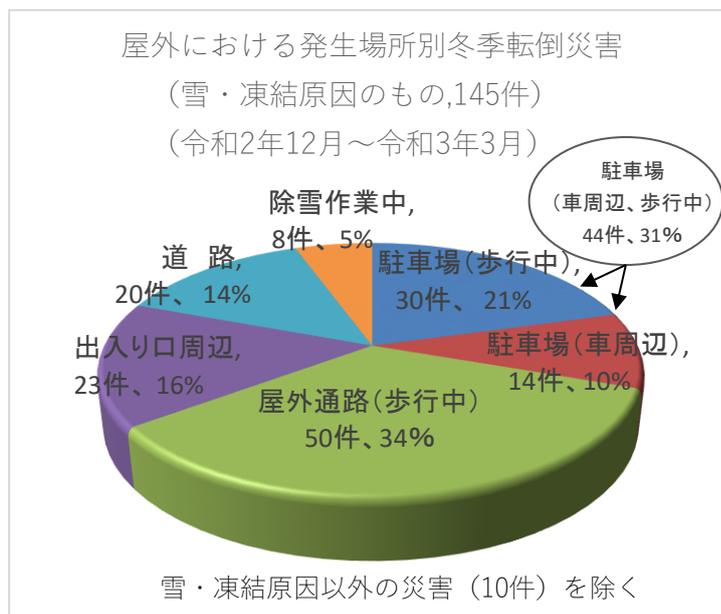
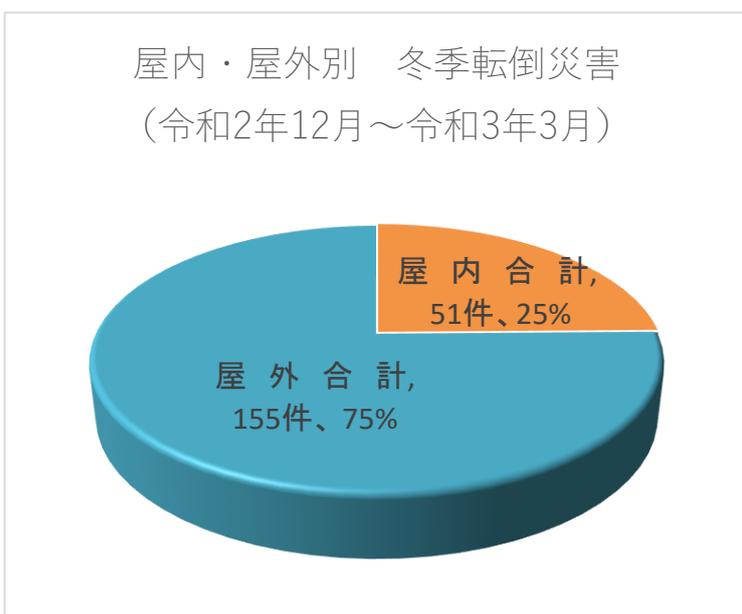
資料1



※転倒災害について、平成25年から令和2年(暦年)による負傷者数の推移を表しております。平成25年には1年間で241人の労働者が何らかの形で仕事に転倒により負傷をしておりましたが、令和2年においては、281人の労働者が転倒により負傷しており、負傷者数は上下しながらも増加傾向にあります。



※平成27年年度から令和2年度までの4月から3月までに発生した月別の転倒災害による負傷者数を表しております。秋田県内における転倒災害は冬期間の12月から2月にかけて急激に負傷者数が増え、屋外の凍結路面等における転倒が目立つようになります。令和3年1月には周期的に発生した爆弾低気圧の影響により、低気圧発生後に転倒災害が都度発生し1カ月で94人が負傷するという、過去最高の転倒による負傷者数となりました。



※上記円グラフは、令和2年12月～令和3年3月までに発生した転倒災害をそれぞれ分類した円グラフになります。左側は発生場所を表しており、右側は転倒災害時の作業内容等を表しております。冬期間は屋外の敷地内通路を歩行中に転倒している事例が最も多くなっております。

全ての事業場の皆様へ

令和3年12月～
令和4年2月

転倒災害防止大作戦!!

～冬季間は「見える化」実施で転ばない職場の実現を～

会社の中で転びやすい場所 BEST 3



1位
屋外通路
(歩行中)

3位
出入口
(段差)
(スロープ)

2位
駐車場
(車周辺)
(歩行中)

「見える化」対策で
転倒予防!

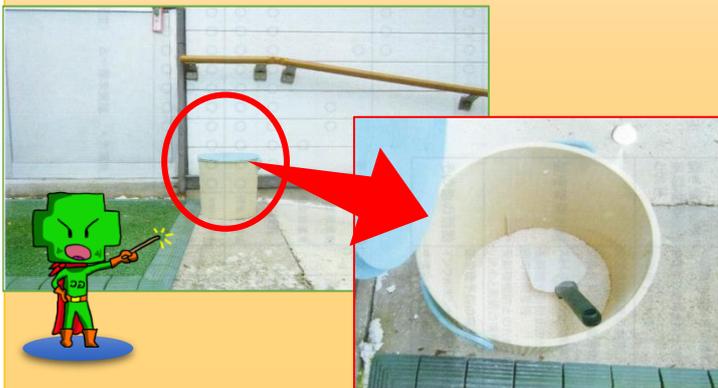
作戦① 出入りに注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止!



作戦② 転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示を



作戦③ 駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止!



作戦④ 冬季間は早く暗くなります。センサーライトの設置で明るさ確保!



①～④の転倒防止対策を事業場内で検討し、出来る対策から積極的に取り組みましょう。

作業場所に適した注意表示の設置を行いましょう

転倒注意



屋外に出るとき
履物交換

転倒注意



この先
傾斜あり

転倒注意



この先
段差あり

転倒注意



凍結のおそれあり

転倒注意



ぬれた床
滑りやすい

転倒注意



足元注意

★転倒事件事例から見た6つの危険ポイント★

1. 屋外に出るときには作業に適した履物を着用しましょう。
2. 重機での除雪後は路面がツルツル。慎重な歩行を。
3. 歩行環境が変化する建物内から屋外へ出るときは要注意。
4. 放射冷却が発生した朝は凍結箇所が多くなっています。
5. 出勤時の車から降りた直後に転倒事故が多発しています。
6. 出入口は同じ場所が踏み固められ凍結部分が発生します。

転ばない環境を作る!

会社が行う対策

段差の解消!!

見える化の推進

センサーライトで照明確保!



注意表示の掲示

物を置かない!!

向こうが見える!!
-衝突防止-

扉開閉注意
対面確認

表示は大きく簡潔に!

消毒液

転ばない行動をする!

働く人が行う対策



○足腰を鍛えて筋力UP!!



×足元の見えない階段の昇降



○指差し確認の実施!!



×ながら歩き



×慌てた行動

STOP! 転倒災害



転倒防止新聞

発行：2021.10
秋田労働局
健康安全課
秋田市山王7-1-3
TEL018-862-6683
Vol.3

働く人にやさしいエイジフレンドリー!!



～照明があればなぁ～の巻



エイジフレンドリー対策の具体的取り組み内容

①照明の確保で足元スツキリ

②機械設備の導入で負担軽減

③段差解消や注意表示の設置

④体力測定や体格に合わせた業務

エイジフレンドリーとは「高齢者の特性を考慮した」を意味する言葉で、WHOや欧米の労働安全衛生機関で使用されています。定年延長により高齢者の雇用促進や、慢性的な人手不足により、高齢労働者の所属する割合が高くなっていく中、仕事にケガをする割合も高くなっており、この原因として、身体的に筋力や骨密度又は瞬発的な判断速度の低下などにより、若年層と比較してケガをしやすい身体になっているこ

「高齢労働者の労働災害が増加中」

とも一因と考えられます。

また、事業場において節電を推奨するため、通路やバックヤードなどにおいて照明を使用しないまま通行したり、作業したりすることで、足元の段差や荷物等が見えにくくなり、結果的につまずき転倒する災害も多く報告されており、高齢労働者が一度ケガをして休業すると若年層より長期化する傾向にもあります。これらの労働災害を防ぐため、照明については作業者がスイッチの操作を行わずとも点灯及び消灯する人感センサーによる照明器具の設置や、通路等の段差の解消、または整理整頓による不要物の除去などの基本的事項を実施し、転倒の原因となるリスクを低減しましょう。

全ての労働者に優しい対策

エイジフレンドリー対策は高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向け職場内の環境改善を進めるきっかけであり、結果的には働くすべての人にやさしい取り組みとなるため、事業場においても積極的に取り組みを進めましょう。

時間に余裕を持った行動を!

転倒防止での注意点は多くありますが、中でも大きな原因の一つに時間に余裕がない「焦り」があります。

通勤も、余裕を持って行動することで、車の運転、歩行でも注意した行動で転倒が防げるものです。ところが、時間の余裕がなく、急ぐことしか頭に浮かばなければ、焦りから今までの転倒してないからという気持ちになり、冬場なのに夏場の感覚で行動するので、朝の除雪に時間がかかったとか、他の車がノロノロ運転だったため、その後、急がなければならなかったとか、さまざま理由があるにせよ、けがして入院になれば全くの無駄ということを考えましょう。

遅くなるのであれば、急ぐのではなく、まず「遅くなること」の連絡をしましょう。転倒、事故に遭えばそれ以上に時間を要し、多くの方々に迷惑をかけることになるのです。5分、10分の遅れに対する連絡が、死亡・重傷災害や事故に勝るはずはありません。「ご安全に！」



新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染防止対策については、手指の消毒や、検温の実施、出勤時のルールを決めるなど各職場においても、感染防止対策が取り組まれておりますが

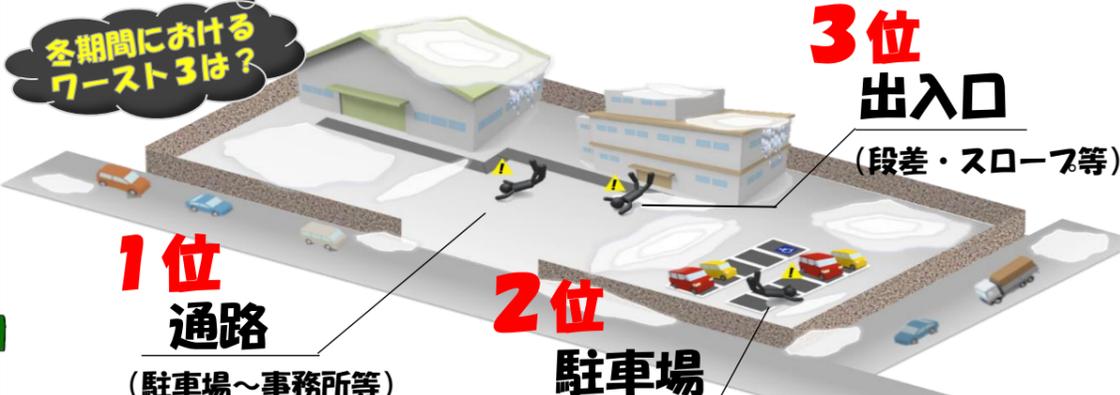
★豆知識コーナー★

凍結防止剤の特徴とメリット・デメリット

<p>名称：塩化カルシウム 凝固点：マイナス50度 メリット：発熱して融雪、即効性有、比較的安い デメリット：塩害有、皮膚炎発症</p>
<p>名称：塩化マグネシウム 凝固点：マイナス30度 メリット：長時間持続、即効性有、比較的安い デメリット：塩害有、気温が-30度越えの地域には不適</p>
<p>名称：塩化ナトリウム 凝固点：マイナス20度 メリット：長時間持続、安価 デメリット：塩害有、気温が-20度越えの地域には不適</p>
<p>名称：酢酸ナトリウム 凝固点：マイナス25度 メリット：金属腐食少ない デメリット：高価、コンクリートの劣化有</p>
<p>名称：尿素 凝固点：マイナス12度 メリット：腐食や土壌塩害少ない デメリット：持続性短、融雪効果低</p>

※凍結防止剤や融雪剤は各種ありますが、一長一短あるため、場所に合わせて使用しましょう。また、撒くタイミングは降雪前や除雪後が有効です。

こんな所で転びました!



編集後記

職場におけるコロナウイルス感染での被災者数が急増しております。転倒防止対策と併せて職場での取り組み実施をお願いいたします。

感染症拡大防止にご協力ください

